

| | | | | |
|---|---|------------|-------|-------------------------|
| クラスター | 社会医学系クラスター | | | |
| 授業科目名 | 臨床疫学研究 | | | |
| 担当者名 | 責任者 | 野村 恭子 | 分担者 | — |
| 単位数 | 1単位(選択) | | 配当年次 | 1年次 |
| 授業形態 | 講義(WebClass) | | 実施場所 | 授業計画の[実施場所]を参照 |
| 開講期間 | 2026年4月下旬～2027年1月末日 | | | |
| 開講曜日・時間 | オンディマンド | | | |
| 授業の概要・到達目標 <p>授業の目的:臨床での問題・課題設定, 文献検索, 仮説にあった統計モデルの選択等研究計画立案のプロセス全般について概観する。</p> <p>授業の到達目標:臨床現場での問題立案ができるようになることを目標とする。</p> <p>授業の概要:疫学研究として集団を対象に因果関係について統計処理にて検証を行う方法について、仮説の立て方、文献検索の仕方、PubMedを中心に、キーワードの設定方法、Meshの調べ方、文献検索用語の立て方について学ぶ。次に論文の書き方、仮説検証のためどの統計手法を選択すればいいのか、概観する。最後に臨床疫学研究でよく使用される生存分析について、説明する。その後に、実際のデータセットの作成方法、各種統計ソフト(Stata, Python, SASなど)について簡単にデモンストレーションをして、それぞれの統計ソフトの特徴について学。最後に、実際の臨床現場における疫学研究の実際として、3領域の実例について紹介する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| | 講義 (講義内容) | 題目 (内容) | 担当教員 | 講座名 [実施場所] |
| 1 | 臨床疫学研究の基本的考え方 | ～仮説の立て方～ | 野村 恭子 | 衛生学・公衆衛生学 [WebClass] |
| 2 | 文献検索の仕方 | | | |
| 3 | 論文の書き方 | | | |
| 4 | 統計手法の選択 | | | |
| 5 | 生存分析 | | | |
| 6 | データセットの作成方法 | | | |
| 7 | 統計ソフトいろいろデモンストレーション(Stata, Python, SASなど) | | | |
| 8 | 臨床とフィールド疫学研究の実際(1) | | | |
| 9 | 臨床とフィールド疫学研究の実際(2) | | | |
| 10 | 臨床とフィールド疫学研究の実際(3) | | | |
| 授業形態および成績の評価方法・基準 <p>Webclassでの講義30時間＋自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は全視聴時間の半分以上に行う。</p> | | | | |
| 問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) <p>鄭 松伊, jonsoni@med.akita-u.ac.jp</p> | | | | |
| その他特記事項 | | | | |